



《入会状況》 令和 6 年 5 月末日現在:正会員 2,898 名 ・ 賛助会員 87 団体

定時総会を終えて 会長挨拶



2024(令和 6)年度総会開催にあたり出席いただいた代議員の皆様、また、ご来賓としてお越しいただいた大阪府介護事業者課宮前課長様、大阪市介護保険課大谷課長様、堺市介護保険課定光課長様、そして記念講演をいただいた大阪府介護支援課木本課長様に厚く御礼申し上げたいと存じます。新たに多くの各地域選出のブロック理事の皆様にご就任いただき、新体制で臨んで参ります。ご指導ご鞭撻ご支援よろしくお願いたします。

公益社団法人 大阪介護支援専門員協会 会長 濱田和則

公益社団法人大阪介護支援専門員協会 第 11 回定時総会報告

本会の第 11 回定時総会が 6 月 22 日(土)に開催され、すべての議案が決議されましたことのご報告をいたします。本年度は初めての代議員制による総会で、各支部から選出された 77 名の代議員の参加があり OMM1 階会場は満席となりました。また、コロナ禍以来となる来賓や記念講演も盛り込んだ充実した総会となりました。



冒頭の濱田和則会長の開会挨拶では、今回からの代議員制の意義と、行政との連携について、またそれが利用者支援の向上につながるよう話されました。続く大阪府福祉部高齢介護室、大阪市福祉局高齢施策部、堺市健康福祉局長寿社会部からの来賓のご挨拶では、本会や介護支援専門員との連携が大切であるという認識を、それぞれ強調して述べられました。

令和 6 年度の事業計画及び予算報告、並びに令和 5 年度事業報告がなされた後、議長に福島区支部の梶山直美氏、副議長には旭区支部の海原義公氏が選出され、議案の審議に入りました。

第 1 号議案「令和 5 年度決算報告」、第 2 号議案「定款の変更」とも質疑・異議はなく審議が進み、満場一致で承認されました。

第 3 号議案の「理事の選任」では、不信任候補者があれば用紙に記入する、代議員による理事選任投票がその場で行われ、全ての候補者が承認となりました。その後、直ちに新理事による臨時理事会が別室にて行われ、今期の会長及び三役が選定されました。改めて選定された濱田会長をはじめ、新役員より自己紹介がありました。

全ての審議が終了し、総会を終えた後、総会記念講演「介護保険制度を取り巻く状況とケアマネジメントに係る現状・課題」と、大阪介護支援専門員連盟の活動報告があり、最後まで大変充実した総会となりました。

代議員制やブロック理事の拡充を生かして、今後増々活発な意見の汲み上げや議論ができる総会への期待が膨らみました。

府民情報発信部 荒木 大輔

新理事の紹介

本号では、新たに選任された理事をご紹介します。任期は令和8年度定時理事会までの2年間です。①推薦団体・推薦ブロック ②所属先 ③就任の抱負



植田 智子

- ① 第Ⅰ推薦区 高槻・島本支部
- ② 社会医療法人祐生会みどりヶ丘ケアプランセンターつかはら
- ③ この度、第1ブロックより推薦を頂き、理事に就任することとなりました。まだまだこれからですが、役割を果たせるよう努めてまいりたいと思います。宜しくお願い致します。



出来田 容子

- ① 第Ⅱ推薦区 四條畷支部
- ② 社会福祉法人山麓会 ケアプランセンター清滝らくらく苑
- ③ 介護支援専門員の現状と存在価値向上を国に対して伝えられる様に意見をだして、会員の皆様と一緒に取り組んでいきたいと考えています。



森田 圭吾

- ① 第Ⅲ推薦区 八尾支部
- ② 株式会社花と樹 ケアプランセンター花
- ③ ケアマネジャーの存在価値と給料向上のために、会員の皆様と一緒に取り組んでいきたいです。



吉原 英明

- ① 第Ⅳ推薦区 松原支部
- ② 南心堂ケア合同会社 南心堂ケアマネ事務所
- ③ 介護保険法上、その事業運営、継続について制度の進展に重要な役割を果たす居宅介護支援業務を担う介護支援専門員の存在価値の向上、および地域ケア活動推進への貢献を皆様と一緒に取り組んでいきたいです。



根来 宝

- ① 第Ⅴ推薦区 堺市美原区支部
- ② 有限会社ケアサービスエス・ビー二十一 S・B ケアサポート
- ③ あらゆる面でより働きやすい環境になることを切望しています。その実現に向け、協会の活動の一助となれるよう努力します。



庄禮 博文

- ① 第Ⅵ推薦区 岸和田・忠岡支部
- ② 合同会社 Milky Way ケアプランセンターたいよう
- ③ これからの介護支援専門員のため役割、立場の重要性を構築でき、現在の介護支援専門員の努力や責務の対価をしっかりと国へ提言できるように一生懸命に頑張ります。



峯岸 良旨

- ① 第Ⅶ推薦区 都島区支部
- ② 株式会社ミーム(ケアプランセンターつむぎ)
- ③ 地域で多職種連携ができるようになるためネットワーク作りに取り組んできました。コロナ禍以降の新しい連携の形を皆様と一緒に作っていきたいと思います。



中島 洋海

- ① 第Ⅷ推薦区 西淀川支部
- ② すまいりい西淀ケアプランセンター
- ③ 現役のケアマネジャーとして、現場最前線で頑張っているケアマネジャー達の生の声を1つでも多く届けられるよう尽力したいです。



澤村 康孝

- ① 公益社団法人大阪社会福祉士会
- ② SOCIAL DESIGN Be myself & 関西大学人間健康学部
- ③ 「会員の皆さまと一緒に何が出来るか」をモットーに様々なことにチャレンジしていきます。どうぞ宜しくお願い致します。



小牧 義孝

- ① 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
- ② 社会福祉法人 大阪市淀川区社会福祉協議会
- ③ 微力ではございますが、大阪介護支援専門員協会のさらなる発展のために尽力したいと思います。



雨師 みよ子

- ① 会長推薦
- ② 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会
- ③ 理事の拝命を受け、協会の事務局と両立で協会業務を推進していきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。



北野 智傑

- ① 大阪市老人福祉施設連盟
- ② 社会福祉法人優心会 特別養護老人ホームこうのと
- ③ 介護支援専門員の価値向上に向けて邁進してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

令和 5 年度支部長会 開催

令和 6 年 3 月 16 日(土)OCMA 研修室にて令和 5 年度支部長会が開催されました。久しぶりの参集開催となり、各支部長(支部長代理も含む)の皆様と活発な意見交換をしました(63 支部中、支部より 57 名 理事 9 名 事務局 2 名 計 68 名)。

第 I 部では、濱田会長より「令和 6 年度介護報酬改定の主要事項について～ケアマネジメントを中心に介護報酬改定に伴う介護支援業務の変化を予測する～」をテーマにご講演いただきました。主治医と介護支援専門員の連携、地域包括診療料等の見直し、介護支援専門員の人材不足への対応として、地域の実情に応じて地域包括支援センターにおける柔軟な職員配置も可能とすること。解釈通知、介護予防支援における指定の内容や基準など、解釈の明確化や入院時情報連携加算に係る最新情報、BCP 策定と高齢者虐待防止の推進、身体拘束の適正化について、ケアプラン作成における主治医の意見、重要事項等の情報の書面掲示(ウェブサイトに掲示)の義務化、逡減性の緩和、ケアブランドデータ連携システム、中医協の資料より医療と介護の連携強化の意気込みが伺えるポイントや改定に至る経緯など多くを学びました。



濱田会長による報酬改定の講演

第 II 部では情報共有として、日本介護支援専門員連盟の藤岡三之輔相談役(大阪介護支援専門員協会相談役)より、「日本介護支援専門員連盟」設立の目的と、「職能を守るには政治的活動を行う事が必要不可欠です」と説明を受けました。職能団体(日本介護支援専門員協会)ではできない活動を行っており、成果として居宅介護支援費負担導入を阻止できたこと、令和 3 年度及び令和 6 年度改定ではともに高い改定率を達成できたことをお話いただきました。今後の課題としては、居宅介護支援費の自己負担や軽度者のサービスを総合事業化・人材確保・予防支援の委託・法定研修改善・大学教育等による介護支援専門員の養成・ICT や介護 DX への対応・管理者要件等があり、介護支援職能を守るために、連盟活動がいかに重要であるかを説いていただきました。



藤岡三之輔相談役

第 III 部グループセッションでは、以下 2 項目について情報共有しました。1. ブロック推薦理事の推薦について:ブロックごと次期推薦理事の選出を行いました。2. 代議員選出に関する質問事項の確認:各グループでまとめた質問内容について吉村副会長より、「代議員制度運営の Q & A」「代議員及び補欠代議員選出の流れ」について回答をいただきました。

今後も、支部長会では各支部および支部長の抱えている問題への解決・介護保険制度への取り組みなど、ブロック理事と共に取り組んでまいります。

第 VIII 区推薦理事 福嶋 勝一郎

第 30 回バリアフリー展 参加報告

今年の来場者は、3 日間で、47,795 人で、昨年より、約 14,000 人も多く来場されました。出展規模は 257 社及び団体、523 ブースの出展があったそうです。(バリアフリー展事務局ホームページより)



大阪介護支援専門員協会は、今年もバリアフリー展示会場に相談ブースを設置しました。運営担当は、府民情報発信部委員会です。協会の広報活動としては、ブース内に、令和 6 年度の介護報酬について、OCMA 通信より抜粋した支部活動や施設ケアマネジャーの記事などを展示しました。開催中、いろいろな相談を受けました。府民の方からは、「高齢者施設の情報を知りたいがどこに問い合わせをすればいいか」などの質問がありました。今年、介護支援専門員実務研修受講試験を受験されるという方は、「一発で合格して協会にも入会する」と強い意思を示され、エールを送りました。また、受験願書の入手先を訊ねてこられて方もあり、ケアマネ不足が課題となっている現状、嬉しくもありました。現任の介護支援専門員からは、法定研修に関することや令和 6 年度の介護報酬改定についての質問だけでなく、

改定内容に関する意見や思いも聞かせていただきました。また、「協会に入会するメリットは？」と訊ねる方もおられましたが、メリットは自分たちで作上げていくものであり、我々の職能の地位向上をあげ

地域包括ケアマネジャー募集！

仕事 主に介護予防支援業務
資格 介護支援専門員
給与 月額 232,500 円相当(時給 1,500 円)
※別途、ケアプラン件数に応じて加算給あり
(実務未経験者:研修期間 3 か月は時給 1,200 円)
勤務 午前 8 時 45 分～午後 5 時 15 分
(残業なし)
休日 土曜、日曜、祝日、年末年始
待遇 社会保険完備、有給休暇有、
交通費規定支給等
勤務地 泉大津市地域包括支援センター
(泉大津市東雲町 9 番 15 号)
(市立総合福祉センター内)
応募 まずはお気軽にお電話ください。
受付：平日午前 9 時～午後 5 時
問合せ (福) 泉大津市社会福祉協議会
地域総務課 (電話 0725-23-1393)

改定内容に関する意見や思いも聞かせていただきました。また、「協会に入会するメリットは？」と訊ねる方もおられましたが、メリットは自分たちで作上げていくものであり、我々の職能の地位向上をあげ



ていくために協会活動があることをお伝えしたところ、頷き理解を示されました。来年のバリアフリー展は、2025 年 4 月 16 日(水)から 18 日(金)の予定です。お仕事の合間に行ってみてください。皆様の仕事に生かせる新しい発見があるかもしれませんよ。

府民情報発信部 山下 晶子

近畿ブロック研究大会 in ひょうご 参加活動報告

令和 6 年 3 月 22 日～同 23 日に兵庫県神戸市のアリストンホテルで開催された第 22 回近畿ブロック研究大会に参加し、本会の委員が分科会を担当したので、活動の報告をいたします。



約 400 の参加者のもとで開会された大会の 1 日目は、厚生労働省老健局大城課長補佐による基調講演「令和 6 年度介護報酬改定のポイント」と、国際医療福祉大学大学院の白澤政和教授による記念講演「人生 100 年時代のケアマネジメント」から始まりました。そして、「新時代！変わる未来のカタチ」と題してシンポジウムが行われ、活躍分野が異なる 3 名のシンポジストが発言して、これからの時代を見越した先駆的な内容のディスカッションを繰り広げました。

2 日目は、5 つの分科会(第 1 働:き方・人材育成 第 2:看取り 第 3:認知症 第 4:家族支援 第 5:災害支援)に分かれ、ケアマネジメント・介護支援専門員研究・実践事例発表会が進められました。

大阪介護支援専門員協会学術研究部の担当は、第 3 分科会(テーマ『認知症』～100 年時代を迎えた認知症ケアマネジメント～について)で吉田委員が座長を担当しました。

5 題の発表があり、それぞれ日々の業務の多忙な中、取り組まれた貴重な発表がなされ、また、フロアからも積極的な質問もあがり、活気のある分科会となりました。

最後に吉田座長は、特に認知症により自身で思いを伝えることが困難な高齢者等の尊厳を守る(利用者の思いを知る)ために、私たち介護支援専門員は何をすべきなのか?日々葛藤しているけれども、今回の発表内容にあったさまざまな手法等を用いて「こうではないか?」「あーではないか?」と手探りで支援を行い、その中から利用者の思いを汲み取り、利用者を中心においた支援をこれからも一歩ずつ進めていくことが大切ではないか、と述べました。また、地域ケア会議における地域課題については今後も地域包括支援センターと保険者とも連携をはかり、地域ケア推進会議等の場で、地域課題の緩和や解決に結びつけていくことが大切ではないかと感想を付け加えて、分科会を締めくくりました。

日本介護支援専門員協会による活動報告の後、閉会式において、今大会事務局を務められた一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会 山内知樹会長より挨拶がありました。この大会の準備から運営までの大変さが伝わるスピーチとなりました。

来年は滋賀県介護支援員連絡協議会へバトンタッチされます。滋賀県草津市で令和 7 年 2 月 15 日、1 日間のみで開催となり、2 月 14 日は前夜祭の開催も検討されているとのこと。研究大会において、ケアマネジメント技術の向上にとどまらず、地域間の交流も深まることを期待しています。



学術研究部 佐々木 啓之

岸和田「キャッスルズ」の活躍

～ 誰でも参加できる岸和田認知症ソフトボール部 ～



岸和田市地域包括支援センター萬寿園中部の富士田正和です。

私に関わっている地域のソフトボールクラブの活動について紹介します。

岸和田認知症ソフトボール部 岸和田城にちなんで「キャッスルズ」は、2012年(平成24年7月)に発足しました。

1ヶ月に1回の活動で認知症、知的障がい、精神障がい、病気の有無関係なく、ソフトボールが好きなら誰でも参加できる地域の運動クラブです。大阪府の地域福祉助成金を活用して、グローブやバット等の道具類を準備して、実際に静岡県富士宮市までバスをチャーターして皆で全国大会に参加したこともありました。



今年で12年目を迎えますが、7月、8月の暑い日も12月、1月の寒い日も1ヶ月に1回は継続しています。毎月続けていくことで活動の場があることで次につながっていくのではないかと考えています。自分自身も楽しみながら関わり続けたいと考えています。

岸和田市忠岡支部 富士田 正和



研修センター事務局便り



適切なケアマネジメント手法について

今年度より、法定研修のカリキュラムに『適切なケアマネジメント手法』が加わりました。

『適切なケアマネジメント手法』は、介護支援専門員の先達たちが培ってきた知見を体系化したものです。

高齢者の機能と生理を踏まえ、疾患や状態によらず共通して重視すべき事項が整理された「基本ケア」と、脳血管疾患・大腿骨頸部骨折・心疾患・認知症・誤嚥性肺炎の予防の、4つの疾患と1つの予防に応じた検討視点をまとめた「疾患別ケア」の2階建て構造となっています。

『適切なケアマネジメント手法』を活用する場面は、主に以下の4つが想定されています。

- ①介護支援専門員がアセスメント・モニタリングやケアプラン原案の作成時に自己点検として活用する。
- ②経験の浅い介護支援専門員へ、指導担当者が事業所内や同行訪問等で指導に活用する。
- ③地域包括支援センターや職能団体が相談支援や研修、地域ケア会議に活用する。
- ④保険者を中心に、地域で特に必要とされている支援内容の傾向や地域資源不足といった課題が具体的に捉えやすくなり、地域づくりに活用する。

以下に、詳細をまとめたアドレス等を掲載しました。是非ご覧になってください。

■「適切なケアマネジメント資料」に関する資料はこちら

「適切なケアマネジメント手法」の手引き https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/column/opinion/detail/r2fukyu_betsushiryō.pdf	
「適切なケアマネジメント手法」の手引き2 https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/pdf/service/special/content11/corner113/caremanagement/240307.pdf	
日本総研「適切なケアマネジメント手法」に関連する事業まとめ https://www.jri.co.jp/service/special/content11/corner113/caremanagement/	

■法定外研修【学術研究部主催】(研修予定)

10月5日(土)・11月30日(土)・12月7日(土)

申込方法等の詳細は、開催日が決定次第、ホームページ『法定外研修の一覧』に掲載をします。

日本介護支援専門員連盟コーナー

トリプル改定の影響がそろそろ具現化してきます。日本介護支援専門員連盟でもトリプル改定に向け精力的な活動を致しましたが、その成果を見極めることが求められます。今後は、次期介護保険法改正や介護報酬改定に対し新しい取り組みを展開する必要があります。殊に介護支援専門員に係る根本的な問題の改善に向けた活動が必要です。なり手不足・離職・転職による人員不足は大きな問題です。その要因には養成の問題・更新制度の問題・過重な法定研修義務の問題等があります。慎重かつ大胆に訴えることが必要な項目です。連盟では協会と連携を持ちつつ更なる活動充実に努めます。数は力、組織率向上が必須です。協会と共に連盟にも是非ご参加ご協力をお願い致します。

(相談役 藤岡 三之輔 記)

入会用QRコードより申込下さい

連盟 HP

連盟入会
入会金無し

年会費 3,000円

郵便払込 (振込料本人負担)
 記号・番号 00140=8=392337
 (加入者名) 日本介護支援専門員連盟
 振込者住所・氏名・TEL 明記し振込

第 139 号(発行日 令和 6 年 8 月 1 日)

編集/発行 公益社団法人 大阪介護支援専門員協会 TEL 06-6943-0577/FAX 06-6943-0571

〒540-6591 大阪市中央区大手前 1 丁目 7 番 31 号 HP アドレス=https://www.ocma.ne.jp

OMMビル(大阪マーチャングイズ・マートビル)3階 Mail アドレス=info@ocma.ne.jp

